

# 第15回県クロスカントリー大会

## 感染症感染防止対策ガイドライン

一般財団法人山梨陸上競技協会  
(2023年1月7日作成)

### 1 大会開催にあたっての感染防止対策のポリシー

- (1) 密集、密接、密閉の所謂、三密回避を徹底する。
- (2) 大会に参加する選手、役員、関係者が、自ら身を守り、他人に感染させない意識の徹底を促す。
- (3) 日本陸連が公表している新型コロナウイルス感染症蔓延防止対策（陸上競技活動再開（大会）のガイダンス）と施設の感染防止対策を遵守する。
- (4) 感染者が発生した場合の濃厚接触者の特定ができる体制を整備する。

### 2 具体的な対策

- (1) 参加募集について
  - ・ 大会参加者は県内在住者のみとする。
  - ・ 有観客とするが、保護者への感染防止対策については、各団体で指導を徹底する。
- (2) 大会への移動方法について
  - ・ 会場への移動は団体での乗り合わせを避け、選手個人とする。また、駐車場の駐車台数に限りがあることから、送迎を原則とする。
- (3) 現地での集合形態について
  - ・ 「ソーシャルディスタンス」「マスクの着用」を徹底する。また、テント等の設営については密閉を避け、着替え等でテント内に複数の人が同時に入室することは避ける。
  - ・ 選手は競技中、ウォーミングアップ、クールダウン時以外は、原則マスクを着用する。また、集団でのウォーミングアップ、クールダウンは避ける。
- (4) 開・閉会（表彰）式について
  - ・ 開・閉会式は実施しない。
  - ・ 表彰については、各部門の競技終了後、随時行う。
- (5) 大会運営について
  - ・ 招集はスタート10分前の現地招集のみとする。選手以外の集合は原則認めない。
  - ・ 競技役員は本部と連携を図り、選手のDNS等を共有する。
  - ・ 選手はスタート前とゴール後に役員の指示のもと手指消毒を行う。

(6) 服装・携行品について

- ・ 競技役員はマスクの着用とビニール手袋または軍手を着用する。また、招集や決審など選手との接触の可能性が高い場合はフェイスシールドの着用も推奨する。
- ・ タオル、飲料などの共有は厳禁とする。
- ・ 雨天時の傘やカップなどは全て選手が準備し、各自体調管理を徹底する。

(7) 観戦者等への対応

- ・ 本大会は都市公園内での開催であり、一般の来園者もいる中で制限を掛けることは困難である。このことから、各団体の意思を尊重し、必要最小限の観戦・応援者をお願いする。ただし、選手と観戦者・応援者との接触を避ける為、スタートゴール付近には選手、役員以外は原則入れないよう規制エリアを設ける。
- ・ 選手への声援は禁止とし、応援は拍手等で行う。また、コース内ではマスク着用とソーシャルディスタンスを義務づける。

(8) 各団体の対策

- ・ 選手控え場所については、三密を避け、通常の2倍以上のスペースを確保すれば設置を認める。
- ・ 当日出されたゴミは持ち帰りとし、飲食物の準備は個人で用意する。(共有不可)

(10) トイレの使用について

- ・ 不特定多数が接触する便座等については、各自で消毒を行う。
- ・ トイレの蓋を閉め、汚物は必ず流すようにする。
- ・ トイレを使用した後は、必ず石鹸等を使って手洗いを励行する。

(11) 消毒対策

- ・ 各団体で消毒液等、感染防止に必要な備品を準備する。
- ・ 主催者側でも受付、トイレ等に消毒液を準備するとともに、スタート前とゴール後は選手に手指消毒を徹底する。

(12) 健康チェック、参加要件

- ・ 大会当日までのJAAF（日本陸連）健康チェックシート（陸協HP掲載）を各家庭の責任において作成し、参加者本人が健康であることを確認する。  
また、未成年者については、保護者の承諾を受け参加させる。なお、大会当日は各団体で健康チェックシートを取り纏め、受付時に参加料とともに提出する。なお、当日体調に異変を感じた場合は参加しない。
- ※ 健康チェックシートは、選手だけではなく、指導者、引率者（選手控え場所に入る者）、役員、審判員、報道関係者についても提出する。また、健康チェックシートに該当する症状が1つでもあった場合は参加を認めない。
- ・ 大会後についても、健康チェックシートを継続し、症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所等に相談するとともに、山梨陸上競技協会に必ず連絡する。

(山梨陸上競技協会 TEL 055-251-4581)

(1 3) 救護体制

- 本大会中は、本部に医師を常駐させる。
- 医師の指示の下、隔離スペースを設け環境を整える。
- 施設管理者と事前に打ち合わせを行い、近隣の医療機関との連携がスムーズに図れるよう体制を整えておく。

(1 4) 大会中、参加者の中から感染者が判明した場合の対応

- 大会中に発熱等の症状が表れた場合は、常駐する医師と相談の上、団体の責任者の責任において帰宅させる。
- 大会参加者からクラスターが発生した場合は、
  - ① 大会を中止する。
  - ② 最寄りの保健所に連絡する。
  - ③ 報告書を作成する。
  - ④ 感染者が所属する団体に連絡する。
  - ⑤ 大会当日、参加した全ての関係者に連絡する。